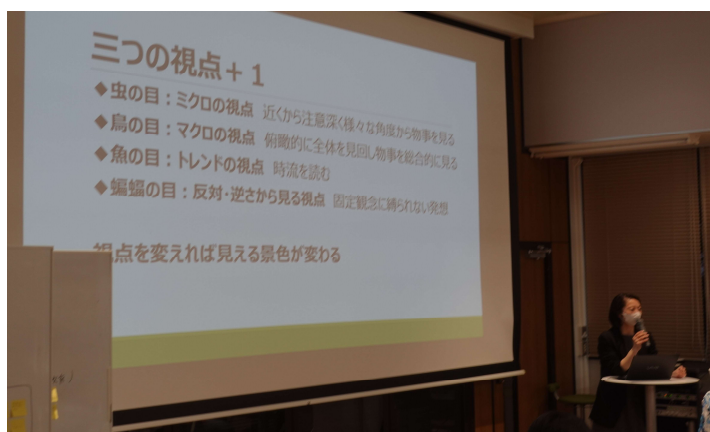


第2回 日本一学生が活躍するまちづくり ワークショップ

日 時：2025.5.28（水）18：00～19：30

場 所：山口大学常盤キャンパス「志」イノベーション道場

宇部市は、令和7年度から学生の感性と行動力をまちづくりに反映させて“若者に選ばれるまち”を目指す「日本一学生が活躍するまちづくり」事業を開始しました。学生の視点・発案をまちづくりに反映させる仕組みを構築・実践するためのワークショップには、公募により選ばれた市内外の大学生約40人が参加しています。



《グループワーク》

「課題を見つめる虫・鳥・魚の目」

第2回目のワークショップでは、来年度の事業提案に向け、「宇部市が抱える課題」をテーマに議論しました。

ファシリテーターを務める山口大学地域未来創生センターの林里織准教授は「課題解決には、自分自身、身近な人、第三者、誰の課題を解決するのかを考えながら、議論を深めてほしい」とした上で、課題の原因や要因を深く広く検討することや、分析に際しては近くから注意深く見つめる“虫の目”、全体を俯瞰する“鳥の目”、時流を踏まえる“魚の目”を意識することをアドバイスしました。

参加者は、市内外、県内外、国外出身という多様な背景から、それぞれが感じる課題を付箋に書き出し、グループメンバーに伝えていました。

さらに、出し合った課題をホワイトボードに貼り、人口減少・少子高齢化、中心市街地活性化、商業、観光、交通、子育て支援、情報発信、学生の就職などにグループ分けを行いました。



山口大学大学院生（1年）は、「自分では気が付かない視点から課題を出し合えて刺激を受けました。課題提言に向けて、引き続き頑張りたいです」と話していました。

第3回（6/11）では、株式会社宇部日報の脇和也会長をゲストスピーカーにお迎えし、宇部市100年の歩みや未来について講演していただきます。